

**臨床医学委員会・健康・生活科学委員会合同
出生・発達分科会（第26期・第21回）
議事要旨**

1. 日 時 令和7年7月31日（木）9:30-10:50

2. 会 場 オンライン会議（zoom）

3. 出席者（五十音順）

高橋尚人、藤井知行（以上、会員）

船曳康子、水口 雅、水野紀子、武藤香織、米村滋人、島薦進（以上、連携会員）

笹月桃子（連携会員（特任））

4. 議事録作成者 高橋 尚人

5. 議事概要

(1) 日本学術会議シンポジウム

2026年3月に日本学術会議講堂を使用しシンポジウムを開催することとし、3月1日と8日を仮押さえしていることが報告された。今後、委員の都合を再確認し日程を決める。8月中旬までに申請書の提出が必要で、今後、申請書フォーマットを委員に配布するとともに、次第について委員間のメールで検討することとした。

(2) 見解案作成の今後のスケジュール

今後、意思の表出のフォーマットを委員長から各委員に連絡することとした。一方、各委員が担当する箇所および見解部分についての文書案と文献を8月19日までに委員長に送ることとした。その後、委員長が最終案を完成し、8月29日の分科会会議で最終的な了承を得る方向とした。

(3) 「現代の新生児医療における倫理的・意思決定基準および代理意思決定の考え方」見解案の検討

委員長が見解案（資料1）と図（資料2）をもとに、委員から意見があった部分を全員で検討した。今後、それらを参考にして委員長が見解案を修正することとした。「法的側面」の部分については、米村委員の案が水野委員に送られていて、最終的な案ができたら委員長が確認することとした。「苦痛」部分については、笹月委員から提出された案を取り入れることとした。「早産児の精神運動発達遅滞と神経発達症」は、今後、船曳委員と神尾委員が検討することとなった。「障害」「障がい」「障碍」の文言についても検討すること

となつた。

(4) 第 69 回日本新生児成育医学会学術集会シンポジウム

8 月 7 日 18-19 時に打合せを行うことを確認した。それまでに委員長が資料と会議 URL を参加者に送ることとした。

(5) その他

特になし

以上